

第2回桜international ソサイチ ホテルウェルコ成田カップ (大会概要)

- 主催： 成田市サッカー協会 ■主管： 成田市サッカー協会事務局、5種部会、女子部
- 協力： 成田市国際交流協会、台湾桃園市サッカー協会、韓国仁川広域市中区サッカー協会
- 協賛： ホテルウェルコ成田 ■期日： 2019年3月30日 ■場所： 成田市中台球技場



<大会経緯>

日本の空の玄関である成田空港を擁する成田市は、人・もの・情報・文化などの国際交流の拠点として大きな役割を担っており、「国際空港都市」の名にふさわしく、グローバル化・国際化時代をリードする世界にひらけるまちを目指しています。そのような目的から2016年度に成田市と台湾桃園市とが「友好都市協定」に調印しました。

そのような国際都市にふさわしい市民活動の一環として、成田市サッカー協会ではサッカーを通じて国際交流を深める目的で、2018年度4月7日に第1回桜international ソサイチ大会と銘うって、日本(成田市)、台湾桃園市(女子チーム)、韓国仁川広域市中区、そして日本在住の南米チームに、佐倉壮年、成田女子を加えて、サッカー大会を実施しました。また、同年2018年10月には、成田市から32名の選手団で桃園市を訪ね、サッカーを通じて親睦を深めております。

今回も、日本の桜の時期に合わせ、桃園市女子チームと韓国仁川広域市中区から壮年有志チームを招き、成田壮年、LC成田女子、南米、佐倉シニアで第2回大会を開催しましたので報告いたします。

回	西暦	和暦	開催地	優勝	参加チーム
1	2018	H30	成田市	仁川広域市	成田、台湾桃園市、南米、成田ミセス、仁川広域市、佐倉シニア、南米
2	2019	H31	成田市	仁川広域市	成田、台湾桃園市、南米、LC成田lady's、仁川広域市、佐倉シニア、南米



■成田市スポーツ振興課 伊藤氏挨拶



■桜満開を背に門馬体育協会会長の挨拶



■成田助っ人荒井選手のドリブル



■台湾桃園市女子と仁川広域市中区+成田助っ人の豪華な面々



■前夜祭でも盛り上がる桃園女子チーム

第2回 桜international ソサイチ ホテルウェルコ成田カップ(大会結果)

仁川広域市中区シニアが桃園女子チームを破り、大会連覇で大会を終える

<大会総括>

今回大会は、前回大会では見られなかった桜も咲き残り、大会名にふさわしい時期に開催できました。参加チームは前回と同様に台湾から桃園市女子をはじめ、韓国からは仁川広域市中区シニア(以下、仁川シニア)、カルドーソ率いる在日南米軍団、佐倉シニア、ホームの成田からはLC成田lady's、成田(五十雀)シニアの6チームで、正に国際的な大会になりました。

第1回大会でその実力を示した桃園女子が、さらに強力となって佐倉、成田シニアをも破り、予選リーグを1位通過したため、LC成田lady'sが女子チーム同志で対戦するには同じく1位通過しかありません。

既に成田シニアは敗退しており、ホーム開催としても成田女子に託さざるを得ません。しかし1位通過には前回大会優勝の仁川シニアを破らなければなりません。試合序盤は仁川も様子見でしたが、やはりサッカーが国技の国は容赦はなく、成田lady'sの食い下がり振り切られます。

決勝は仁川シニア対桃園女子。桃園は最終ラインに男性選手(コーチ)を入れて堅守速攻で仁川ゴールに挑みますが、仁川も固い守りではじき返します。桃園が運動量が落ちた所を突かれて決勝点を奪われ、反撃するも時間切れで仁川シニアの連覇で大会は終了しました。

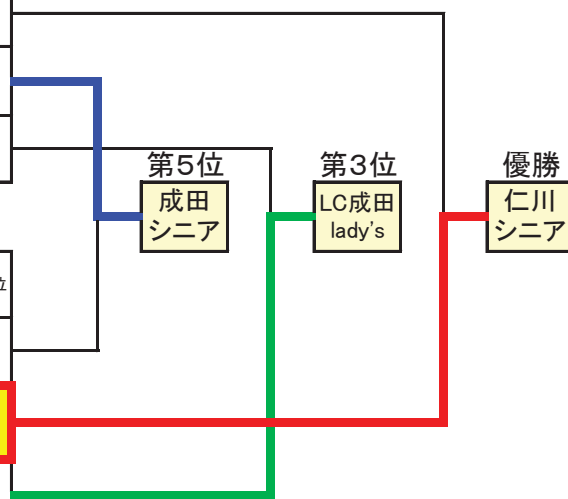
<予選league A>

	桃園女子	成田シニア	佐倉シニア	勝点	得点	失点	得失点	順位
桃園女子	○	○	○	6	0	0	0	1
成田シニア	●	○	●	0	0	0	0	3
佐倉シニア	●	○	○	3	0	0	0	2

成績	チーム名
優勝	仁川シニア
準優勝	桃園女子
第3位	LC成田lady's
第4位	佐倉シニア
第5位	成田シニア
第6位	南米軍団

<予選league B>

	南米軍団	仁川シニア	LC成田lady's	勝点	得点	失点	得失点	順位
南米軍団	○	●	●	0	0	0	0	3
仁川シニア	○	○	○	6	0	0	0	1
LC成田lady's	○	●	○	3	0	0	0	2



■準優勝: 桃園女子、女子なのに今年も強かった。



■優勝: 仁川+成田助っ人(宇野、遠藤、池谷、加瀬、荒井)



■佐倉シニアと、大健闘のLC成田lady's



■カルドーソ率いる南米軍団